

V. 放射線安全管理学

大項目	中項目	小項目
1. 放射線防護の基本 概念	A. 放射線防護体系 B. 放射線防護に用いられる 諸量 C. 放射線被ばくの定義と 種類	a. 行為の正当化 b. 防護の最適化 c. 線量限度 d. 介入 e. 補助限度 a. 基本的な量と単位 a. 自然放射線による被ばく b. 医療被ばく c. 職業被ばく d. 公衆被ばく e. 内部被ばくと外部被ばく f. 全身被ばくと局所被ばく g. 閾値 h. 緊急時の被ばく
2. 関係法規	A. 診療放射線技師法 B. 医療法 C. 医療法施行規則における 放射線取扱施設の構造承 認に用いる計算法 D. 放射性同位元素等による 放射線障害の防止に関す る法律<放射線障害防止 法> E. 労働安全衛生法	a. 医療法施行規則 a. エックス線診療施設のしゃへい計算 b. 診療用高エネルギー放射線発生装置 使用施設のしゃへい計算 c. 診療用放射性同位元素使用施設の、 しゃへい、排気、排水計算 a. 放射線障害防止法施行規則 a. 電離放射線障害防止規則
3. 放射線管理の目的 と方法	A. 放射線管理に用いる測定 機器 B. 外部被ばく管理	a. 種類 b. 用途 c. 使用方法 d. 保守管理 a. 外部被ばく線量評価の目的と方法 b. 実効線量及び等価線量の評価 c. 個人被ばく線量測定 d. 場所の測定 e. 周辺線量当量 f. 方向性線量当量 g. 外部被ばく線量測定に使用する実用 量 h. 外部被ばく線量評価のための換算係 数 i. 全身被ばくと局所被ばくの線量評価

大項目	中項目	小項目
	C. 内部被ばく管理	a. 内部被ばく線量評価の目的と方法 b. 体内放射能の測定と評価<MIRD 法、ICRP 法> c. 摂取量と実効線量評価 d. 体外計測法<全身計測法> e. バイオアッセイ法
	D. 表面汚染管理	a. 表面汚染評価の目的と方法 b. 表面汚染密度の測定と評価 c. 対策と措置
	E. 線源管理	a. 密封線源の安全管理と取り扱い b. 非密封線源の安全管理と取り扱い c. 汚染対策
	F. 放射性廃棄物の処理	a. 固体 b. 液体 c. 気体 d. 汚染検査と洗浄設備
	G. 医療廃棄物の取り扱い	a. 放射性医薬品を投与した患者からの排泄性医療廃棄物の管理と対策
	H. 放射線事故への対応	a. 緊急時の届出 b. 緊急時の線量管理 c. 緊急時の健康診断
4. 放射線被ばくの防護	A. 医療被ばく	a. エックス線撮影時の患者の被ばく b. IVR<インターベンショナルラジオロジー>時の患者の被ばく c. 核医学検査における患者の被ばく d. 介護者、志願者の被ばく
	B. 公衆被ばく	a. 放射性医薬品を投与された患者家族の被ばく
	C. 職業被ばく	a. 検査時の術者の被ばく b. 治療時の術者の被ばく